

私学振興フォーラム2020

令和2年2月
大分県私立中学高等学校協会



はじめに

大分県私立中学高等学校協会
会長 小山康直

平成28年1月、大分県私立中学高等学校協会は「私学振興プラン2015」を策定しました。

このプランは、私学を取り巻く厳しい環境の中で、県内の各私立中学校高等学校がそれぞれの建学の精神のもと切磋琢磨しながら特色ある教育を実践し、同時に私立学校共通の諸課題に一体となって取り組むことにより、個性豊かで学び続ける力を持った人材の育成を図ることを目指して、2020年（令和2年）までの中期ビジョン及びビジョン実現のためのアクションプランとして策定したものです。

策定以降現在まで、私学一丸となってプランに沿った取組を実施した結果、県内外から多くの生徒を受入れ、地域で活躍する人材を輩出するなど、多くの成果を上げることができましたが、この間、私学を取り巻く環境も大きく変化し、取り組むべき課題もあることから、さらに私学振興の取組を継続・発展させるため、「私学振興プラン2015」を改訂し、2024（令和6）年度までの5年間を計画期間とする新たな計画「私学振興プラン2020」を策定しました。

申すまでもなく、教育は、子どもたち一人ひとりの人格の完成を目指し、子どもたちが将来にわたって幸福な生活を営んでいく上で不可欠なものであり、また将来、地域、社会を担っていく人材を育てていくという使命もあります。

少子高齢化の進展、グローバル化や知識基盤社会の到来など、社会が急激な変化を遂げる時代にあって、子どもたちへの教育を一層充実していくため、学習指導要領の改訂、高等学校教育改革、グローバル人材の育成に向けた教育の充実、キャリア教育・職業教育の推進、人権教育の推進、就学支援の充実等さまざまな方策が進められています。

このような中、公立学校とともに公教育の一翼を担う県内の私立中学校高等学校は、「私学振興プラン2020」に沿って、さまざまな課題を克服しつつ、生徒一人ひとりの願いに応えるとともに、時代が要請する人材の育成はもちろん、地域を支える拠点として個性的で魅力あふれ安全安心な学校づくりに取り組んでまいります。

令和2年2月

目 次

序 章	私学振興プラン策定の趣旨及び改訂の経緯	1
第1章	私立中学高等学校の現状と課題	2
	1 私立中学高等学校を取巻く環境	
	2 私学振興プラン2015の検証	
	3 これからの私立中学高等学校のあり方	
第2章	共通ビジョン	10
	1 私学振興プラン4本の柱	
	(1) 生徒、保護者、地域とつながった安全安心な学校づくり	
	(2) 夢の実現力を引き出し、新たな時代で輝く生徒の育成	
	(3) グローバル化・ICT化に対応し、活用する教育の推進	
	(4) 多様化に対応できる、個性豊かな教職員の資質・能力の向上	
	2 2024年への目標	
第3章	各学校の取り組み	16

【参考資料】

大分県私立中学校・高等学校の開校年等
私学振興プラン2020改訂委員会（名簿）

序章 私学振興プラン策定の趣旨及び改訂の経緯

平成28年1月、大分県私立中学高等学校協会は、各私立学校が建学の精神に則り特色のある教育を実践し、ひいては、個性豊かで学び続ける力のある人材の育成を目指して、2020（令和2）年を目途とした中期のビジョン及びビジョンを実現するためのアクションプランを策定しました。

策定以降現在まで、私学一丸となってプランに沿った取組を実施し、多くの成果を上げることができましたが、まだ満足できる結果には至っておらず、また、この間、私学を取り巻く環境も大きく変化していることから、私学振興の取組を継続・発展させるため、各校の教職員等で構成する私学振興プラン改訂委員会において改訂作業を行い、2024（令和6）年度までの5年間を計画期間とする新たな計画の策定を行いました。

【参考】

■大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」改訂案（～2024）

【発展】1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

(4)信頼される学校づくりの推進

主な取組 ⑤魅力ある私立学校づくりへの支援

- ・地域や産業界との協働により、本県の将来を担う人材の育成や、グローバル化や情報化など、時代や社会の変化に適応できる人材の育成への支援
- ・学力の向上、キャリア教育の推進、スポーツ・文化活動の振興、看護・調理その他の特色ある学科の設置など、多様なニーズに対応した魅力ある私立学校づくりの推進
- ・教育条件の維持向上や保護者の経済的負担の軽減、経営の健全性の確保などの自主的な取り組みの促進

第1章 私立中学高等学校の現状と課題

1 私立中学高等学校を取巻く環境

(1) 少子化の進展

我が国では、人口減少や少子高齢化が進んでおり、例えば、18歳人口は現在の約120万人から2040（令和22）年には約88万人まで減少することが予測されています。

県内の中学校卒業生も減少傾向にあり、令和4年から令和6年にかけて一時的に1万人を超えるものの、令和15年には約8,500人、令和19年には約7,300人まで減少すると推計されています。

県内私立高校の進学者数に与える影響は大きく、良質な教育環境を維持する上でも、生徒数の確保が課題となっています。これまでも、生徒や保護者から選ばれる魅力ある学校づくりに取り組み、県内・県外からの生徒の受入・維持に努めてきましたが、さらなる取組が必要です。

大分県内の中学卒業予定者数（各年3月末時点見込）

2019 (R元年)	2020 (R2年)	2021 (R3年)	2022 (R4年)	2023 (R5年)	2024 (R6年)
10,573人	10,719人	10,268人	10,300人	10,061人	10,201人

大分県の私立高校生徒数（全日制）

区分	2016 (H28年度)	2017 (H29年度)	2018 (H30年度)	2019 (R元年度)
1年生	3,006人	3,102人	3,045人	2,915人
2年生	2,804人	2,901人	2,947人	2,866人
3年生	2,618人	2,717人	2,791人	2,837人
計	8,428人	8,720人	8,783人	8,618人

県私学振興・青少年課調べ

(2) 産業・経済の構造的変化 経済情勢の変化

第4次産業革命ともいわれるAIやIoTなど技術の急速な進展に伴い、超スマート社会（Society 5.0）が到来しつつあり、また、人・もの・情報が国境を越えて行き交うグローバル化が進んでいます。

急速な技術革新に伴い、雇用形態も多様化・流動化し、労働市場も大きく変容しています。就職・進学にかかわらず、早くから働くことへの関心や意欲を高め、

将来を見据えたライフ・キャリアプランを考えさせるとともに、社会生活上の基本的なマナーやコミュニケーション能力など、社会人・職業人としての基本的な能力を身につけることがこれまで以上に重要となっています。

(3) 新しい時代の教育施策

グローバル化や知識基盤社会の到来、少子高齢化の進展など、社会が急激に変化する中で将来の見通しを立てることはますます難しくなっています。

人工知能の普及や、暮らしにおけるインターネットの浸透は社会や生活を大きく変えることが予想され、このような時代を生きる生徒には、変化を前向きに受け止め、社会や人生をより豊かにしていくためにはどうすべきかを自ら主体的に考えだすことができる力が必要であり、教育のあり方も大きな転換が必要となっています。

子どもたちへの教育を一層充実していくため、学習指導要領の改訂や、グローバル人材の育成に向けた教育の充実等さまざまな方策が示され、取組が始まっています。

新しい学習指導要領では、新しい時代を生きる子どもに必要な力として、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱が示されており、各学校においては、学校教育全体を通じて3つの柱にバランスよく取り組み、児童・生徒の「生きる力」の育成に努めることが求められています。

全ての意志ある高校生が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国や県において高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減が図られています。令和2年4月からは国の就学支援金制度が拡充され、私立高等学校に通う世帯年収約590万円未満世帯の生徒を対象に授業料が実質無償化されることが予定されており、他校との差別化や教育の質向上により、選ばれる学校づくりに取り組むことが課題となっています。

(4) 地方創生

グローバル社会や知識基盤社会の到来、人口減少、少子高齢化の進展など、社会が急激に変化する中、未来を生きる生徒を育てる上で、高等学校が地域の拠点となり、地域と協働し、地域そのものを学びの対象としてその魅力を高めていくなど、実践を通じた学びの創出が求められています。

また、こうした取組は、地方創生に資するものであり、本県においても、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくためには、学校を核とした地域活性化や生徒が地域に誇りを持つ教育の強化など、私立学校の担う役割がますます重要となってきました。

2 私学振興プラン2015の検証

(1) 個性豊かな教職員の資質向上

- ・ 大分県私立中学高等学校協会において、教職員や事務職員を対象とした研修を合同で開催するほか、県教育委員会の協力の下、県教育センターが実施する研修への参加や、全国の私学組織が実施する研修会等への派遣を積極的に実施しています。
- ・ 県外の先進学校の視察研修や、県内各校の公開授業への参加及び事後の伝達研修を通じて、各学校における教育の質の向上を図っています。
- ・ 生徒や保護者の多様なニーズに対応するため、学校評価や保護者に対するアンケート調査、教職員の資質向上のための研究授業や独自の研修を行っています。
- ・ 人権問題の解決に向かう実践力を育む上で、部落差別解消を核とした人権研修が体系的かつ効果的に実施されるよう、新任教職員や人権教育指導者等を対象に、指導案の研究やフィールドワーク等実践的な研修を実施しています。
- ・ 国家資格合格者を除き、四年制大学の合格者数、全国大会出場等スポーツ・文化における活躍は、プラン策定時（2015年）に比べ上昇傾向にあります。

■ 四年制大学合格者数

	2014 (H26年度)	2015 (H27年度)	2016 (H28年度)	2017 (H29年度)	2018 (H30年度)
国公立	235人	254人	195人	209人	229人
私立	1,091人	1,065人	1,051人	1,138人	1,180人
合計	1,326人	1,319人	1,246人	1,347人	1,409人

■ 国家資格合格者

2014 (H26年度)	2015 (H27年度)	2016 (H28年度)	2017 (H29年度)	2018 (H30年度)
725人	593人	626人	531人	563人

■ スポーツ成績件数

	2014 (H26年度)	2015 (H27年度)	2016 (H28年度)	2017 (H29年度)	2018 (H30年度)
全国出場	95件	108件	119件	127件	167件
九州3位以内	48件	52件	64件	74件	74件
県優勝	135件	139件	135件	114件	144件

■ 文化活動成績件数

	2014 (H26 年度)	2015 (H27 年度)	2016 (H28 年度)	2017 (H29 年度)	2018 (H30 年度)
全国出場	35 件	31 件	29 件	32 件	37 件
九州 3 位以内	12 件	16 件	19 件	21 件	14 件
県優勝	20 件	10 件	14 件	27 件	24 件

(2) 生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる学校づくり

- ・ 「私学フェスタ」や「大分県私立高等学校体育大会」など、県内の私立高等学校の生徒が一堂に会し、日頃の研鑽の成果を発表し、競い合うことで生徒のモチベーションを高めるとともに、私立学校の存在意義のアピールに努めています。
また、「私学フェスタ」等の企画運営を生徒が自ら行うことで、実践力を養うとともに、各校の交流促進に繋がっています。
- ・ いじめやハラスメント、体罰等問題事案の発生を抑止する上でも、人権尊重の視点に立った学校づくりを推進することが重要です。そのため、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律や部落差別解消推進法等の法律、大分県私立学校人権教育基本指針（大分県私学協会策定）の趣旨に沿って、新任教職員や人権教育指導者等を対象に部落差別解消を核とする人権研修の充実に努めています。
- ・ 県内私立高等学校への入学者数は、プラン策定時（2015 年）に比べ増傾向にあり、県外からの入学者数の割合も 1.8 ポイント上昇しています。
一方、不登校生徒の受入れ人数及び入学者数に占める割合は低減傾向にあります。

■ 入学者数及び県外からの入学者数の割合（各年 5 月 1 日現在）

2014 (H26 年)	2015 (H27 年)	2016 (H28 年)	2017 (H29 年)	2018 (H30 年)	2019 (R 元年)
2,869 人 13.0%	2,930 人 13.9%	3,006 人 13.8%	3,102 人 14.2%	3,033 人 14.3%	2,905 人 15.7%

■ 不登校生徒受入れ人数及び入学者数に占める割合（各年 5 月 1 日現在）

2014 (H26 年)	2015 (H27 年)	2016 (H28 年)	2017 (H29 年)	2018 (H30 年)	2019 (R 元年)
265 人 9.9%	274 人 9.4%	268 人 8.9%	286 人 9.5%	219 人 7.2%	215 人 7.4%

(3) 生徒の個性を光らせ、長く見守るキャリア教育の推進

- ・ 私立高等学校各校における就職支援のボトムアップを図るため、大分県私立中学高等学校協会にコーディネーターを配置し、就職支援員等連絡会議を毎月開催するとともに、各校合同でのキャリア教育研修会や、各校に出向いての生徒向けキャリアデザインセミナー等を実施しています。
- ・ 私立高等学校生の早期の就職内定や就職後の長期定着を図るため、普通科生徒も対象にインターンシップを推進する等の取組を行った結果、平成30年度の就職内定率は、プラン策定時（2015年）に比べ0.6ポイント上昇しています。
- ・ 令和元年度からは、就職先企業との関係強化や就職後の状況把握にも取り組んでいます。

■ 就職内定率

2014 (H26年度)	2015 (H27年度)	2016 (H28年度)	2017 (H29年度)	2018 (H30年度)
98.3%	97.9%	99.0%	99.7%	98.5%

(4) グローバル化・ICT化に対応した教育の推進

- ・ JETプログラム等を活用した外国語指導助手（ALT）等の配置に積極的に取り組むとともに、ALTや県内大学在籍の留学生を活用した異文化理解の促進を図っています。
- ・ 平成29年度～令和元年度の3年間で、授業で活用する電子黒板やタブレット等の導入、情報通信網の整備等、私立学校におけるICT教育環境整備を集中的に実施しています。
- ・ 各学校の特性に応じたICT導入や授業での効果的な活用を推進するため「ICT化対応教育研究会」を設置し、検討や情報交換を定期的に行っています。

3 これからの私立中学高等学校のあり方

(1) 期待される役割

教育は、子どもたち一人ひとりの人格の完成を目指すものであり、子どもたちが将来に渡って幸福な生活を営んでいく上で不可欠なものです。また将来、国や社会を担っていく人材を育てていくという使命もあります。

グローバル化や知識基盤社会の到来、少子高齢化の進展など、社会が急激な変化を遂げる時代の中で子どもたちへの教育を一層充実していくため、学習指導要領の改訂、グローバル人材の育成に向けた教育の充実、キャリア教育・職業教育の推進、高等学校教育改革の推進、人権教育の推進、就学支援の充実等さまざまな方策が示されています。

「新高等学校学習指導要領」では、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立等に取り組むことが求められています。

また、そのためには、生徒一人ひとりが興味や関心に沿って、学校内にとどまらず、地域社会や企業、NPO、高等教育機関といった多様な学びの場を活用し、異なる年齢や背景を持つ相手と交流しながら学びを進める「社会に開かれた教育課程」の実践が必要とされています。

県内の私立中学高等学校は、公立学校とともに公教育の一翼を担い、各学校が建学の精神に基づく特色ある教育活動を積極的に展開しながら、時代の進展とともに多様化する県民のニーズに対応してきました。

今後、さらに少子化に伴う生徒減少期にあっても、さまざまな課題を克服しつつ、経営基盤の維持・強化を進め、時代が要請する人材の育成はもちろん、地域を支える拠点として県民の要請に応える個性的で魅力あふれる学校づくりに取り組みます。

また、私立中学高等学校では、家庭の経済状況にかかわらず、全ての意志のある生徒が安心して教育を受けられるよう、保護者の負担を軽減するため、不断の経営努力に努めるとともに、国や県の制度を活用し、就学支援金や授業料の減免を行うほか、各学校独自の取組として特待生・奨学金制度等を設け、生徒の就学を支えています。

令和2年度からは就学支援金制度等の拡充が予定されており、教育の質向上や教育費の負担軽減等、他校との差別化や特色ある取組を打ち出し、魅力ある県内私立学校で学びたいと願う生徒の希望を叶えることが期待されます。

(2) 私学教育の魅力・特色

① 一人ひとりに寄り添った教育

私立学校は教員の異動が少ないため、入学から卒業まで、生徒一人ひとりに寄り添った指導を行うことができます。

指導力のある教員が丁寧に対応することで、生徒一人ひとりの強みを伸ばすことはもとより、隠れた能力を見出し、それを伸ばすことにも力を注いでいます。

不登校傾向にある生徒等に対しても、教職員やカウンセラーによる保護者も含めた相談援助や家庭訪問を実施するなど、きめ細かな対応を行っています。

② 多種多様な教育

私立学校では、多様なコース（進学、情報、体育、国際等）や専門科（看護、福祉、商業、食物等）の設置、企業や大学との連携、宗教教育等、個性あふれる多様な教育を個性豊かな教師集団が実践しています。

進学では、中高一貫教育などの独自システムや特進クラスを設置するなど、生徒が希望の大学等に進学できるよう取り組んでいます。就職においても、職業系学科を設置するとともに、民間の専門学校とも連携し、看護師や調理師、自動車整備士等就職に直結した資格取得を促進する等、生徒の夢の実現を後押ししています。

③ 時代の変化に迅速に、柔軟に対応する教育

多くの私立学校が「社会に役立つ人材の育成」を目指しており、1年生時から卒業後を見通したキャリア教育の実施、各種資格取得、ボランティア活動の推進等により、社会に出てから求められる力や職業観の涵養に取り組んでいます。

従来から、郷土料理や地域の特産品開発、空き店舗等を活用した賑わいの場づくり、スポーツや義援金活動等を通じた国際交流など地域に開かれた学校づくりに先駆的に取り組んでいます。これまで培ってきた経験やノウハウを活かし、取組の充実や高度化を図ることで、新たな時代を担う人材の育成・輩出により一層貢献していきます。

(3) 克服することが求められる課題

① 教職員の人材確保・育成

教育の質をより一層高める上で、教職員や外部人材の確保、資質向上に常に取り組んでいく必要があります。

② 生徒・保護者・地域から選ばれる学校づくり

現在、所有している資源（人材、施設、情報等）を最大限に活用しながら、既存の学科・コース等の見直し、検討をすすめ、これらの魅力ある学校づくりに向けた取組を積極的に地域に情報発信していくことが必要です。

③ 教育環境

学校保健安全法に基づく「学校安全計画」や「危機等発生時対処要領」（危機管理マニュアル）の策定、見直しを継続的に行い、組織で安全管理に取り組む体制を整備することが必要です。

学校の施設設備について、特に耐震化は生徒の安全に関わることであり、また、学校は地域の防災拠点となりうるという観点からも優先的に取り組むべき課題です。

また、新しい学習指導要領への対応としてICT環境の整備に引き続き取り組むとともに、設備を十分活用した教育の推進に取り組んでいきます。

④ 長期的な視点による経営

中長期的な視点で魅力ある学校づくりを推進する上で、各学校の自助努力により経営基盤の維持・強化を進めるとともに、教育内容等に関する情報公開を行っていくこと、また、私立学校間等での連携や相互協力などの推進に引き続き取り組んでいくことが必要です。

第2章 共通ビジョン

生徒一人ひとりの心の奥底には、自分を見つめ、よりよく生きようとする願いがあります。大分県の私立学校には、それぞれ創立者の思いと建学の精神があり、その思いを根底に生徒一人ひとりに寄り添いよりよく生きようとする教職員を中心とした人材がいます。

「人が人を育てる」私学の原点に立ち返り、次の4本を私学振興プランの柱として、共通の取組を行い、さらに各学校の個性を磨いていきたいと考えています。

1 私学振興プラン4本の柱

(1) 生徒、保護者、地域とつながった安全安心な学校づくり

生徒一人ひとりが、将来の夢や希望の実現に向けて、個人個人の持つ多様な能力、個性、興味・関心に応じた教育を、主体的に選択できる環境を整備することが喫緊の課題です。そのため、基礎学力をしっかりと身につけさせるとともに、将来を設計できる力や社会環境の変化に適応できる力を育むことを基本とし、その上で、進学に必要な学力や専門的な知識・技術の習得、スポーツや芸術文化などの個性や能力を伸ばすことができる、多様な教育メニューの提供、拡充に取り組めます。

私立学校が将来にわたり地域にあり続ける上で、人口減少を克服し、活力ある地域社会を維持する「地方創生」の取組も重要であり、学校を核とした地域活性化や生徒が地域に誇りを持つ教育の強化に取り組んでいきます。

地球温暖化等により、毎年大規模な自然災害が多発しており、また、生徒を狙った犯罪も増えています。全国的に学校内での「いじめ」や「ハラスメント」の問題が後を絶たず、対策が急務となっています。全ての子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、学校全体で未然防止や早期発見・早期対応に取り組むことが必要です。

また、こうした課題を改善する上において基盤となる人権教育が重要です。部落差別解消を核とする人権研修をしっかりと行うことにより、人権尊重の視点や人権問題の解決に向かう実践的行動力の育成に努めます。

【今後の取組】

- ・ ホームページやSNS等を活用した情報発信、広報の強化
- ・ 県立図書館等公共の場におけるポスター掲示や学校案内等の配布
- ・ 私学フェスタや私立高等学校体育大会の開催により私学一丸となった魅力発信
- ・ 「開かれた学校」として、学校施設の地域開放、出前授業等の実施や、地域行事への積極的な参加により伝統・文化の継承に貢献
- ・ 地域の拠点として、県や市町村とコラボした「地産地消授業」等地域活性化の取組
- ・ 有事の際、地域の防災拠点となりえるよう耐震化等学校の施設整備を計画的に実施

- ・「学校安全計画」や「危機等発生時対処要領」（危機管理マニュアル）の策定、見直しを行うなど、組織的な安全管理体制の整備に努めます。
- ・自然災害への備えとして学校の防災管理及び生徒・児童に対する防災教育の充実
- ・地域と連携し、事件・事故に対する子どもの安全対策の充実
- ・不登校や中途退学、日本語指導の必要性など多様なニーズに対応した教育の提供

(2) 夢の実現力を引き出し、新たな時代で輝く生徒の育成

急速なグローバル化の進展に伴い、人・もの・情報や様々な文化・価値観が国境を超えて流動化するなど、変化の激しい時代が到来しています。今後も、国際交流の進化と国際競争の激化が予測される中、郷土や地域への深い理解をもって、世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働することでグローバル社会を生き抜くことができる人材の育成が求められています。

また、技術革新の進展により雇用形態が多様化・流動化し、労働市場も変容する中、進路指導にとどまらず卒業後の人生設計を見据えたキャリア教育がますます重要になっています。生徒の意思決定を尊重しながら、進学や就職等進路指導を適切に行うなど学校におけるキャリア支援を充実するとともに、多様な主体が行う地域貢献や体験活動等に教職員・生徒が積極的に参加することで社会人を養成していきます。

教職員の人事異動が少ない私立学校の強みを最大限に活かし、生徒の夢の実現を卒業後も継続して応援します。

また、成年年齢や選挙権年齢の引き下げに伴う消費者教育、主権者教育、外国人児童生徒等への支援等、新たな教育課題についても適切に対応していきます。

【今後の取組】

- ・キャリアパスポート等を活用し、高校3年間を見通したキャリア教育支援の充実
- ・中高連携や高大連携、資格取得促進、職業体験・インターンシップ等、各校の強みや地域・産業界とのつながりを活かしたキャリア教育の推進
- ・普通科における職業体験・インターンシップの実施促進
- ・総合的な探求の時間等を活用した課題解決型学習や体験活動の充実、及び地域や郷土、自国に対する理解促進と愛着心の醸成
- ・地域社会や企業、NPO、高等教育機関など多様な学びの場を活用し、幅広い年齢層や異なる経験、価値観と交流し、学びを深める「社会に開かれた教育課程」の実践
- ・SNSを活用し、各校の取組や私立学校の魅力を県内外に積極的に発信します。卒業生に対しても母校の情報や交流の場を提供し、継続的な関係構築に努めます。
- ・スポーツや芸術文化など多彩な部活動を通じて、自己実現の機会を提供するとともにチームワークやマナー等の社会人基礎力を養います。

(3) グローバル化・ICT化に対応し、活用する教育の推進

急速なグローバル化の進展や、超スマート社会（Society5.0）の到来などを背景に、実践的な語学力や情報・ICTリテラシーの向上に加え、STEM教育等により、多様な価値観を持つ人々と協働し、課題解決や新たな価値を創造できる人材の育成が求められています。

変化が著しく予測困難な時代を生きる子ども達が、未来の創り手となるために必要な資質、能力を確実に育むため、新学習指導要領の着実な実施やSTEM教育の推進に取り組めます。

また、2015（平成27）年に国連総会において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の一つ「質の高い教育」の実現に向け、すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯を通じて学び続ける力を養います。

【今後の取組】

- ・外国語指導助手（ALT）等グローバル人材に触れる機会の提供や、県内在住留学生との交流による異文化理解の促進
- ・海外姉妹校協定の締結や、訪日教育旅行団・ホームステイ受入れの活用
- ・ICTを活用した遠隔による海外教育機関との交流授業
- ・総合的な探求の時間等を活用した課題解決型学習や体験活動の充実、及び地域や郷土、自国に対する理解、愛着心の醸成
- ・タブレット型端末や無線LAN環境等の計画的かつ継続的な整備
- ・ICTを活用した主体的・協働的な学びの充実、生徒の個性に応じた教育の提供
- ・ICT支援員（専門家）の配置等、指導方法・指導体制の改善・充実
- ・情報活用能力や情報モラルを育む授業づくりのための教職員研修や先進校視察
- ・グローバル化対応研究会による授業改善や教職員の海外研修等

(4) 多様化に対応できる、個性豊かな教職員の資質・能力の向上

未来を担う子どもたちへの教育の充実には、教育の直接の担い手である教師の資質の向上が不可欠です。これからの時代に求められる質の高い学びを実現するとともに複雑化する教育課題に適切に対処するための指導力が求められます。

このため、社会の要請に合った研修を企画することはもちろん、社会経験を積む機会の提供や、日頃の研鑽の成果を顕彰し教職員のモチベーションの向上を図る取り組みなどを推進することが必要です。

生徒や保護者の多様なニーズに対応するため、学校評価や保護者に対するアンケート調査、教職員の資質向上のための研究授業や独自の研修を行います。

【今後の取組】

- ・新採5年目や10年目等、教職員の経験に応じた各階層別研修や、分野別（コース別）専門研修を実施します。
- ・先進的取組をしている他校の視察や異業種、異文化（海外）の学校視察にも積極的に取り組みます。
- ・グローバル化対応研究会やICT研究会等、学校法人の枠組みを超えた授業改善や指導方法の研究を実施
- ・人権尊重の視点を持った学校づくりを推進するとともに、部落差別解消を核とした人権教育が生徒の発達段階に応じ適切に行われるよう、フィールドワークをはじめ実践的な研修により教職員等の資質向上に努めます。

2 2024年への目標

今後、県内の私立中学校高等学校が一丸となって「私学振興プラン2020」を実践することが、安全安心で魅力あふれる教育環境の中で、生徒一人ひとりの願いに応え、時代が要請する人材の育成を進めることにつながります。

計画期間中、多くの項目の中から特に次の3項目を具体的目標に掲げ、取組を進めます。

① 入学後1年間で退学する生徒の割合 3%以下

平成28年度～30年度の平均入学者数（3,052人）に対する退学者数（106人）の割合は3.5%であり、これを3%以下にすることを目指します。

② 入学者に対する県外生徒の割合 16%以上

令和元年の入学者数に対する県外入学者数の割合は16%であり、これを16%以上にすることを目指します。

③ 就職内定者における県内就職者の割合 75%以上

平成27年度から平成30年度の就職内定者における県内就職者の割合の平均は74.3%であり、これを75%以上にすることを目指します。



岩田中学校・高等学校 (16ページ)



楊志館高等学校 (22ページ)



福德学院高等学校 (18ページ)



向陽中学校・大分東明高等学校 (24ページ)



大分国際情報高等学校 (26ページ)



大分中学校・高等学校 (20ページ)



明豊中学・高等学校 (28ページ)



別府溝部学園高等学校 (30ページ)



日本文理大学附属高等学校 (38ページ)



東九州龍谷高等学校 (32ページ)



柳ヶ浦高等学校 (40ページ)



昭和学園高等学校 (34ページ)



竹田南高等学校 (42ページ)



藤蔭高等学校 (36ページ)

第3章 各学校の取り組み



岩田中学校・高等学校

【建学の精神】

Festina Lente ～ゆっくり急げ～

【ビジョン】

現代に求められる「生徒力（学力・語学力・企画力）」の養成
生徒と共に「教員の（教科的・人間的）個性」を伸ばす学校づくり

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 「人のつながり」を軸とする「iwataアイデンティティ」の確立

- ① OB・OGによる「生き方講座」やキャリア教育
- ② ネットモラル&リテラシー教育
- ③ 複数学年でのテーマ別学習活動
- ④ 性教育プログラム（WYSH）の継続

2 ICT環境を活かした「新しい教育」の創造

- ① 生徒からの「発信/受信」を密にした双方向授業
- ② プレゼンテーションやディベート授業の充実
- ③ 留学生・海外学生との交流体験
- ④ 教員対象の定期的研修

3 ICT環境を活かした教育環境づくり

- ① タブレットによる毎日の健康観察
- ② 保護者への連絡文書の管理・保存
- ③ 生徒の生活時間の把握
- ④ アンケート機能を使った意識・実態調査

基本情報

学 校 名	岩田中学校・高等学校		
学 校 法 人	岩田学園		
設 立 年 月 日	明治33年 7月 大分裁縫伝習所設立 昭和26年 3月12日 高等学校設置認可		
理 事 長	成瀬 輝一		
校 長	柳井 修 ・ 児玉 洋司 (令和2年4月から)		
施 設	敷地面積	31,922㎡	設 備 1号館・2号館・ 3号館・4号館・ 5号館・6号館・ 7号館・体育館・ 生徒寮・トイレ棟
	建築面積	11,002㎡	
生 徒 数	中学 240名 高校 333名 計 573名		
学 科 ・ コー ス	全日制普通科 IWATAコース・APU立命館コース		

建学の精神等 (校訓)	F e s t i n a L e n t e ～ゆつくり急げ～		
特 色	難関大学・学部への進学を目標とした6年間の中高一貫教育 (IWATAコース) 高大連携の教育プログラムによるグローバルな人材の育成 (APUコース)		
教 育 活 動	【教育方針】 1 社会に有為な人材の育成 2 きめ細かく、一人ひとりを大切にす教育 3 自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成 4 公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者とともに考える教育		
ク ラ ブ 活 動	【体育系】 バスケットボール (男・女) / サッカー (男・女) / テニス (男・女) 陸上 (男・女) / 卓球 (男・女) / 剣道 (男・女) / 軟式野球 【文化系】 科学 / 歴史研究 / E S S (英会話) / ギター / 囲碁将棋 / 書道 / 報道 / 家庭		
制 服	男子… (冬) 学校指定学生服 / (夏) 白カッターシャツ・黒スラックス 女子…ブレザー・ブラウス・ベスト・スカート・スラックス		



福德学院高等学校

【建学の精神】

実学を重んじ、自立できる人間の育成

【ビジョン】

自立できる生徒の育成

信頼され、選ばれる学校づくり

教職員の資質スキルアップ

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 個性を育て、社会性を身に付けるキャリア教育

- ・各学科生徒のモチベーションを向上し続けるため、授業だけでなく行事の内容充実や資格取得へのサポート
- ・早めの進路選択・ガイダンスや企業説明の機会を増やす
- ・インターンシップ等で職業観・使命感を養う

2 信頼され、愛される学校づくりと最新の情報発信

- ・学校の日常を発信する（SNS等の活用）
- ・学科の特色を生かし各種イベントへ積極的に参加する（地域との連携）
- ・国家試験や検定の合格率を上げる
- ・生徒一人ひとりに寄り添った指導をする

3 時代のニーズに通用する教職員のスキルアップ

- ・職員研修の充実を図る
（ICT教育や生徒指導等、あらゆる角度から教育活動の底上げをする）
- ・コミュニケーションのスキルを上げる
（生徒や保護者とともに、その時の状況に合った対応ができる）

基本情報

学 校 名	福德学院高等学校			
学 校 法 人	城南学園			
設 立 年 月 日	昭和 2 年 9 月 8 日 城南女学校設立 昭和23年 5月26日 高等学校設置認可			
理 事 長	幸 和枝			
校 長	坂田 一郎			
施 設	敷地面積	20,335㎡	設 備	全校舎無線LAN完備 美容実習室（シャンプー台設置） 総合調理実習室 体育館・テニスコート・礼法室 トレーニングルーム 芝蘭寮 冷暖房完備
	建築面積	5,605㎡		
生 徒 数	416名			
学 科 ・ コ ー ス	普通科（スポーツ強化コース・ITライセンスコース） トータルビューティ科・こども教育科・健康調理科 （健康進学コース・調理コース）			

建学の精神等 （校訓）	【建学の精神】 実学を重んじ、自立できる人間の育成 【校 訓】 自主・礼節・友愛
特 色	普通科 スポーツ強化コース：スポーツを通して徹底した技術指導とリーダーの育成 普通科 ITライセンスコース：国家資格であるITパスポート取得に挑戦、情報社会に 役立つ授業と資格取得 トータルビューティ科：高校卒業時に美容師免許が取得可・美容師への最短距離で さまざまな資格取得 こども教育科：こどもたちや保護者からの信頼に応える保育士・幼稚園教諭の育成 健康調理科：高校卒業時に国家試験免除で調理師免許が取得可能・和・洋・中の料理技術を習得
教 育 活 動	【教育目標】生徒の自立と自律の支援教育 【教育の目指す生徒像】 「自分で考え、判断し、責任を持って行動できる自立の精神を持った人間の育成」 「お互い尊敬しあい、礼儀正しい態度や心のこもった挨拶・言葉遣いができる人間の育成」 「人間尊重の心を持ち、人を愛し、信頼し助け合い、お互いに切磋琢磨できる人間の育成」 【学びの基・姿勢三ヶ条】 「感謝」・・・不平不満を言う前に、まず感謝の気持ちを持ちましょう。 「謙虚」・・・他人のせいにする前に、まず謙虚な気持ちで、自分の責任を考えてみましょう。 「行動」・・・面倒くさがる前に、まず何事もやってみましょう。
ク ラ ブ 活 動	運動部 なぎなた部・テニス部・剣道部・女子バスケットボール部・サッカー部・バレー ボール部 男子バスケットボール同好会 文化部 美術部・書道部・茶道部・華道部・JRC部・演劇部・手話部・料理同好会・音楽 同好会 放送同好会・インターアクトクラブ
制 服	【冬服】 紺のブレザースタイル、ブルーのシャツに女子はチェックのプリーツスカート 男子はグレーのスボン 【夏服】 ブルーのシャツにスカート・ズボン ベスト・セーター・女子のスボンについては学校指定のみ着用可



大分中学校・高等学校

【建学の精神】

校訓：創造・敬愛・気力 教育基本法に定める目的および方針に基づき、各科において必要な基礎学力を徹底させるとともに、生徒各人の長所を生かし、誠実・自立の精神を養うことにより、平和社会の建設と全身に役立つ人物の育成をはかる。

【ビジョン】

在校生が充実した学校生活を体感でき、小・中学生が進学したくなるような学校になる。

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 生徒が躍動する日常の創造

- ① 学力の向上：到達度テストの導入
- ② 授業の活性化：研究授業の増加
- ③ 学校行事の創造：生徒の生徒による生徒のための学校行事
- ④ 生徒と教師の交流の場の創造：全校集会の増加・課題研究発表
- ⑤ 部活動の活性化：リーダーシップの育成・人間形成・顧問の連携強化

2 生徒の人間性の向上

⇒生徒の個性を光らせ長く見守るキャリア教育の推進

- ① 3年間通したキャリア教育の構築：外部講師による定期的な講演・卒業生の講話
- ② 元気で礼儀正しい人間教育：厳しい企業の研修に派遣・生徒指導の徹底

3 10年後の学校像を見据えた行動指針

- ① 生徒募集の強化：営業強化・HP、SNSの有効活用・中高一貫を最大限活かす
- ② 各部署の活動内容把握
- ③ 認め合う空気づくり
- ④ 出張・研修会参加の奨励
- ⑤ 教員間の交流の場の創造：ワークショップの定期的開催・交流会開催
- ⑥ 時代に適応：生徒一人に一台のタブレット・全教室に電子黒板導入

基本情報

学 校 名	大分中学校・高等学校		
学 校 法 人	大分高等学校		
設 立 年 月 日	昭和23年 4月	大分外国語専門学校設立	
	昭和27年 5月31日	高等学校設置認可	
理 事 長	小山 康直		
校 長	小山 康直 ・ 小山 統之 (令和2年4月から)		
施 設	敷地面積	33.249㎡	設 備 購買部、柔剣道場
	建築面積	14.921.978㎡	
生 徒 数	中学校 208名 高等学校 1,093名 専攻科 25名		
学 科 ・ コース	普通科 (特進選抜・特進・特進個性進学・特進個性音楽・特進個性書道・ 特進個性アスリート・普通・アニメ) ・商業科・自動車工業科		

建学の精神等 (校訓)	校訓：創造・敬愛・気力 教育基本法に定める目的および方針に基づき、各科において必要な基礎学力を徹底させるとともに、生徒各人の長所を生かし、誠実・自立の精神を養うことにより、平和社会の建設と全身に役立つ人物の育成をはかる。
特 色	本校には中学校2コース、高等学校3科10コースが存在する。中学校には特進クラスとスポーツクラス。高等学校においては、普通科の中に特別進学コース(選抜・特進)・特別進学個性コース(進学・音楽・書道・アスリート)・普通コース・アニメコース、商業科、自動車工業科を持っている。そのためそれぞれのニーズに合わせた教育活動を行っている。修学旅行においては、基本的に海外を予定しており、国際交流にも力を入れている。部活動においても、全国レベルで戦える部が年々増えてきている。それぞれの部署で、本校の歴史の中でも稀にみる成果が表れている。
教 育 活 動	文武両道をスローガンに、またそれぞれの生徒の夢の実現のため、学科・コースに合わせた学びを実践している。また、価値観が多様化している現代社会において他の人たちの価値観を認められる幅広い人間性を育てるため、生徒たちがさまざまな経験を得ることができるカリキュラムを組んでいる。大学進学・キャリア教育を推進するとともに、芸術・スポーツ・国際交流において大分県の私学の雄としてあり続ける努力を行っている。
ク ラ ブ 活 動	野球・サッカー・剣道・ハンドボール・陸上・ゴルフ・バスケットボール・ソフトテニス・ボウリング・硬式テニス・吹奏楽・書道・美術・放送・弁論・囲碁・華道・茶道・特進新聞・図書・購買・情報処理・自動車同好会・水泳同好会・インターアクト・生徒会
制 服	ハナエモリデザインの制服で、濃紺ベースのスタイル。着る楽しみが、永く着用しても飽きのこない、着る生徒たちが自分の感性を生かしアレンジできる。そんなことを考えてデザインされたプレタ感覚の香る学生らしいきちんとしたデザインと清潔感のあるしなやかな機能性の制服。



楊志館高等学校

【建学の精神】

広く産業経済界に有為な人材を育成し個性豊かな子弟を送り出す

【ビジョン】

- 1 実学教育の推進
- 2 信頼される学校づくり
- 3 継続した徳育教育の推進・強化

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 実学教育の推進

- ・コース改編により学園設置の専門学校との連携を強化
- ・学科・コース・学年の壁を超えて、多種多様な資格にチャレンジ(生徒)
- ・新たな資格研究(教員)

2 中学生に選んでもらえる学校地域に開かれた学校づくり

- ・本校教員による中学校での出前授業
- ・大分県や市町村とコラボして生産者団体と連携した地産地消授業
- ・福祉施設などでの活動(福祉科、ボランティア部、邦楽部など)
- ・外国人留学生による「日本語スピーチコンテスト」開催、交流
- ・児童・幼児に向けた親子料理教室や陶芸教室などの開催
- ・情報の迅速な随時発信(Facebook・Instagramなどの活用と充実)
- ・各コースがコラボしての商品の開発

3 継続した徳育教育の推進・強化

- ・「瞑想の時間」を、各授業のはじめ等を実施
- ・本校独自の多彩な行事の充実「学園遺徳の日」「徳育の日(毎月1日)」の充実など
- ・校是「礼儀・感謝・奉仕」の具現化の推進
- ・校務分掌「徳育」と「教務」「進路」「指導」が緊密に連携し、豊かな心を持った生徒の育成
- ・日本の伝統的な精神文化の理解を深める職員研修の充実

基本情報

学 校 名	楊志館高等学校		
学 校 法 人	後藤学園		
設 立 年 月 日	明治22年 4月 1日 後藤簿記・珠算塾設立 昭和28年 3月 5日 高等学校設置認可		
理 事 長	濱小路 悦生		
校 長	高橋 正直		
施 設	敷地面積	25,512.0㎡	設 備 本館、2号館、3号館、 国際交流記念館、 体育館、各武道場、 各コース実習施設
	建築面積	19,365.0㎡	
生 徒 数	938名		
学 科 ・ コース	普通科・進学コース 医療事務コース エステティックコース キャリアライセンスコース 保育進学コース (2020年4月～) 福祉科・保育福祉コース 福祉コース (2020年4月～) 商業科・デジタルデザインコース 調理科・調理師コース 工業科・マルチエンジニアコース		

建学の精神等 (校訓)	<建学の精神> 広く産業経済界に有為な人材を育成し個性豊かな子弟を送り出す <教育方針> 形から心を養う実学教育 <校 是> 礼儀 感謝 奉仕
特 色	創立以来、「有徳の学園」づくりに取り組んでいます。時代が変わろうとも「徳育の尊さ」を追求し続け、斬新な教育課程のもと、一人ひとりの個性を大切に、思いやりを持った優しく心豊かな生徒を育成する為、様々な教育活動の中で徳育教育の機会を作っています。
教育活動	社会のニーズにこたえる5学科9コースで編成され、学年制のまとまりとコース制の特色を生かし日々の教育活動に取り組んでいます。本校独自の教育課程により生徒個々の能力に応じた学習指導のもと、卒業後の進路を見据えて学力と技術力を身につけます。
クラブ活動	17の体育系クラブと11の文科系クラブがあり、陸上競技部とカヌー部が、県の国体強化指定を受けています。令和元年は、相撲部女子が世界大会で好成績をおさめました。邦楽（太鼓）やボランティアも積極的に活動をしています。
制 服	男女ともに冬服は黒を基調に、シンプルで落ち着きがあり上品に着こなすことができます。グリーンのネクタイがポイントです。 夏服は、男女ともに上が白、男子のズボンと女子のスカートが紺色で爽やかな印象です。



向陽中学校・大分東明高等学校

【建学の精神】

Where there is a will, there is a way.
—意志あるところに道あり—

【ビジョン】

スクールカルチャー
東明・向陽文化の確立

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 コース制の強化

- ① コース別年次目標設定：進学・就職・資格・検定
- ② コース独自カリキュラム：習熟度・進路別
- ③ コース単位の行事による帰属意識の醸成とキャリア教育
：コース集会・進路講演会・施設実習

2 進路実績の向上

- ① 面接やガイダンスの活用：面談週間・教育合宿
- ② 各教科「基礎力テスト」の充実：事前・事後指導
- ③ 授業評価：生徒・保護者アンケート、授業計画・進捗表
- ④ 教員研修の実施：公開授業週間・教育セミナー
- ⑤ 家庭学習習慣の確立：生活・学習調査、課題出題状況調査

3 知・徳・体の育成

- ① 多彩な学校行事：生徒による自主運営
- ② 盛んな部活動：スクールリーダーの育成
- ③ 生徒会活動の活性：校外清掃活動・交通マナーアップ啓発
- ④ 多様性の理解と尊重：海外研修・交換留学・校内9コースの交流
- ⑤ 基本的生活習慣の確立：「東明5つの約束」

基本情報

学 校 名	向陽中学校・大分東明高等学校		
学 校 法 人	平松学園		
設 立 年 月 日	昭和29年 3月16日 平松高等学校設立 昭和29年 2月25日 高等学校設置認可		
理 事 長	平松 大典		
校 長	平塚 正明		
施 設	敷地面積	82,155.76㎡	設 備 本館・新館・南館・北館・東館 新体育館・第二体育館・ 看護専攻科・向陽中学校 第1グラウンド・第2グラウンド 男子寮・女子寮
	建築面積	25,308.41㎡	
生 徒 数	向陽中学校 126名 大分東明高校 1,947名 看護専攻科 88名		
学 科 ・ コース	普 通 科 (普通コース・歯科衛生コース・国際コース・ 準特コース・特別進学コース) 商 業 科 (商業介護福祉コース・情報処理コース) 看護教養科 (医療系進学コース) 看 護 科 (5年一貫コース)		

建学の精神等 (校訓)	Where there is a will, there is a way. ～意志あるところに道あり～
特 色	「人間力の涵養と学習力の育成」の目標の下、独自のカリキュラムと特色を持つ4科9コースを設置し、多様な生徒の個々の目標や習熟度に応じた、きめ細かな指導を行っています。県内有数の進学実績を誇ると同時に、部活動など全国レベルの実力を持つ者も多く、文武両道の夢を持った生徒たちが多く集う学校です。
教 育 活 動	「生徒を真ん中に据えた教育の推進」の目標の下、生徒の意欲を喚起し能力・個性を伸ばし、一人一人の生徒が輝く学習環境を保証しています。教育活動の中心として授業の質を向上を図りつつ、一方で細やかな進路指導、充実した学校行事を目指します。また、ボランティア等の課外活動を奨励し、社会的責任を自覚し社会貢献を志向する生徒を育てます。
ク ラ ブ 活 動	運動部、文化部合わせて40を超えるクラブがあります。運動部ではインターハイで4度の優勝経験のあるアーチェリー部、全国大会の常連で男女とも上位入賞実績のある駅伝部、躍進著しいラグビー部、また文化部では常に全国のトップレベルに立ち続けるバトン部、県内・トップクラスの吹奏楽部などをはじめ、多くのクラブが活躍しています。
制 服	男子はブレザースタイル、女子はコシノヒロコデザインによる白いラウンドネックのブラウスに紺のボレロ・プリーツスカートが冬服の基本です。夏服は男女とも白いシャツ・ブラウスにグレーのズボンとチェックのスカート。向陽中学校の制服も高校に準じています。



大分国際情報高等学校

【建学の精神】

社会に貢献できる情報産業技術者ならびに無線従事者の育成

【ビジョン】

With ～1人1人の夢と未来と幸せのとなりに～

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 LIKE to LIFE ～好きをカタチに・好きをミライに～

- ① 特色ある専門コースにおける実習授業の充実化
- ② 卒業までに全生徒3つ以上の資格を取得する
- ③ 部活動の全国大会出場
- ④ 課外活動（ボランティア、コンテスト等）への積極的参加を推進する

2 1人1人に合った指導

- ① 生徒の個別指導案による情報共有と、生徒・保護者への細やかな対応
- ② クラス・学年を越えた「教職員全員で生徒全員を育てる」取り組み
- ③ 教職員研修の更なる充実化を図り、チーム力を向上させる
- ④ 生徒の困りを理解し、良さを伸ばす取り組み

3 キャリア教育の充実

- ① 3年間を通じたキャリア教育の実践
- ② コース別インターンシップおよび企業・大学見学の充実化
- ③ 卒業後の人生を見据えた進路指導（労働、進学、社会貢献等の意義）
- ④ 「キャリア教育推進委員会」の設置

4 想像力と創造力

- ① 新たな時代を生き抜く力の育成
- ② アクティブラーニングの推進
- ③ ICTカンファレンス等への参加
- ④ 情報リテラシー教育の深化

基本情報

学 校 名	大分国際情報高等学校			
学 校 法 人	渡邊学園			
設 立 年 月 日	1956（昭和31）年			
理 事 長	渡邊 幸子			
校 長	渡邊 幸子			
施 設	敷地面積	13,926㎡	設 備	本館（教室棟）、実習棟（コンピュータ実習室、CG実習室、電子工作実習室、電子計測実習室、電子製図実習室） 体育館、調理実習棟、ほか
	建築面積	4,156.77㎡		
生 徒 数	合計：233名（1年生：81名 2年生：88名 3年生：64名）			
学 科 ・ コース	普通科 情報通信科（国際情報コース） 情報電子科（情報電子コース、情報デザインコース）			

建学の精神等 （ 校 訓 ）	建学の精神：社会に貢献できる情報産業技術者ならびに無線従事者の育成 校 訓：愛と犠牲の精神 質実剛健 実践躬行
特 色	建学の精神・教育目標を踏まえ、教師の創意工夫と生徒の学ぶ意欲に満ちた学校づくりに努めています。興味・関心にあわせた多様なコースを開設し、個性や創造性を伸ばし、知識・技術・資格を習得することにより、自己の資質・能力を最大限に発揮し、高度技術・情報化社会でグローバルかつ主体的に活躍し、21世紀を担う人材を育成しています。最新の施設・設備を備えた実習施設があり、タブレットや電子黒板を活用し理解度を高めるICT授業や、ロイロノートを使用した個別対応学習など、最先端授業で生徒の夢実現をバックアップしています。経済産業省認定「基本情報技術者」や「ITパスポート」等、多くの資格試験においては、毎年高い合格率で実績を上げています。平成29年4月には普通科が設置され、少人数制のクラス編成で国公立大学や私立大学などの4年制大学現役合格を目指しています。
教 育 活 動	修学旅行（行き先は年度により異なります）があります。その他、創立記念日、毎年ユニークな競技種目で盛り上がる体育大会、模擬店や生徒による発表が充実した学園祭、あしなが学生募金などのボランティア活動も積極的に実施しています。平成26年度には、長年にわたる地域清掃ボランティア活動が認められ、「がんばる道守 in 大分 銀賞」を受賞しました。「高校生ミライハック」や「高校生ICTカンファレンス」等、学外でも幅広く活動し、その創造性やアイデアが高く評価され、数多くの賞を受賞しています。校内外さまざまな場面で、生徒会を中心に、生徒たちの自主性のもと活発に活動しています。
ク ラ ブ 活 動	平成27年度に創部された硬式野球部は、平成28年度大分県選手権準優勝、大分県私学体育大会準優勝など、実績を出しています。平成28年度には男子剣道部、29年度には女子剣道部が創部され、全国選抜大会出場、令和元年度にはインターハイ・九州大会に出場し、インターハイでは女子個人戦で5位に入賞しました。ほかバドミントン同好会、サッカー同好会の活動もさかんです。文化系は情報技術部、放送技術部、フォトメディア部、文芸部、DTM（デスクトップミュージック）部、演劇部、ボランティア部、家庭同好会などが活躍しています。フォトメディア部は各種コンテストにおいて、県代表として全国大会、九州大会に出場しています。
制 服	大分県で初めてイタリアベネトン社デザインの制服を導入しており、スタイリッシュで上品なデザインです。シャツ・ブラウスはホワイト、ラベンダー、ブルーの3色から選べます。家庭でも洗濯できていつも清潔なウオッシュャブル制服です。



明豊中学・高等学校

【建学の精神】

「真理はわれらを自由にする」

【ビジョン】

地域に愛され、信頼され、選ばれる学校づくり

中高一貫と高大連携を活かし、知性を磨き、技を磨き、心を磨き、
「生きる力」を育てる

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 中高一貫と高大連携

- ① 「地域で活躍する人材」としての必要な力を身につける
- ② 「国際都市別府」で活躍できるコミュニケーション能力を育成する
- ③ 高大連携クラスでの具体的なカリキュラムの構築

2 多様性のある生徒への各教科の学力向上

- ① 特別進学クラスの学力向上対策
- ② 高大連携クラスでの多様性に応じた進路指導
- ③ 思考力、表現力を鍛える授業改善

3 不登校対策、学校への定着対策

- ① スクールカウンセラーとの連絡強化
- ② いじめに対応する組織力
- ③ 心の問題を扱った講演

4 教師力向上

- ① 教師間の授業観察・研究授業の実施
- ② 県内外の教科研修会への参加、還流報告の徹底

基本情報

学 校 名	明豊中学・高等学校		
学 校 法 人	別府大学		
設 立 年 月 日	明治41年 4月12日 豊州女学院設立 平成11年 3月24日 高等学校設置認可		
理 事 長	二宮 滋夫		
校 長	岩武 茂代		
施 設	敷地面積	39,503㎡	設 備 体育館・看護棟・情報処理室・特別棟 ※各教室冷暖房設置 明豊グラウンド・野球部寮・野球専用グラウンド 室内練習所
	建築面積	13,081㎡	
生 徒 数	中 学	174名	専攻科 54名
	高等学校 全日制課程	484名	
	通信制課程	81名	
学 科 ・ コース	全日制課程 普通科	特別進学クラス 高大連携クラス (情報経営進学コース・食物進学コース・幼児教育コース)	
		看護科 (5年一貫)	
	通信制課程 普通科		

建学の精神等 (校訓)	建学の精神 「真理はわれらを自由にする」 (校訓) 夢 : 志を高く、将来の目標を見つける 勇気 : 何事も一歩前に進む勇気を持つ 愛 : 自分を信じ、人を愛する心を養う
特 色	・中高一貫を特色とし、学校行事、学習活動、部活動を通して、時代の変化に対応できる「人間力」を身につけると同時に人への思いやりを持った心豊かな人間を育成する。 ・高大連携を進め、「国際都市別府」で活躍できるコミュニケーション能力等の必要な力を育成する。 ・一人一人が持つ無限の可能性を見極め、最大限に能力を引き出し「夢の実現」に向け、明るく豊かな心と知性を養い、責任感、行動力のある健全な人間の育成に努める。
教 育 活 動	特別進学クラス：少人数による習熟度別授業や個人指導・朝テスト・補習・勉強合宿を通して目標を達成するための学力をつける。 高大連携クラス：情報経営進学コース・食物進学コース・幼児教育コースといった生徒の個性に応じたコース編成で、普通教科の確かな学力とともに、幅広い知識や主体性などを身につける。 看 護 科：5年一貫の最短コースで、看護師国家試験受験資格が得られ、看護の心を育てると同時に感性を磨き専門性を高め、自主性を育てる教育を行う。
ク ラ ブ 活 動	体育系：卓球部 テニス部 弓道部 硬式野球部 サッカー部 バスケットボール部 ソフトテニス部 剣道部 総合運動部 文科系：インターアクトクラブ部 E S S部 チア部 文芸部 明豊ソーラン部 書道部 放送部 吹奏楽部 茶道部 華道部 野外活動部 科学部 写真部
制 服	男女ともに「グレー」を基調としたモノトーン調の知的で洗練された印象の制服。男子は3ピースのスーツスタイルにネクタイ、女子はリボンがアクセントになっている。ともに上衣の胸元には学校名のMの刺繍が施され、明豊生としての誇りが刻まれている。



別府溝部学園高等学校

【建学の精神】

恭敬・親和・自立

【ビジョン】

溝部ブランドを向上させ、県下及び生徒・保護者の
目標となり、社会から信頼され“選ばれる”学校

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 ランクアップを目指した進路指導

- ① 第一志望合格者80%に向けた進路目標別の計画的補習の実施
- ② 外部講師による科・コース別職業意識啓発事業の実施
- ③ 企業研修を含む教職員のスキルアップ研修会の実施
- ④ 教材選択及び教育課程の見直し 等

2 部活動の更なる活性化

- ① 指導者・保護者に対しスポーツ歯学・栄養学講習会を実施 [学内連携]
- ② 地域施設の積極的活用やニーズに応じた柔軟な部活動を展開
- ③ 高度な指導スキルをもつ外部指導者等の効果的な活用 等

3 自主自立できる生徒の育成

- ① “Mプロジェクト”の充実に向けた育成プログラムの強化・推進
- ② 教育相談的手法のスキルアップに向けた継続的な研修会の実施
- ③ HR活動の充実と指導体制の強化 等

基本情報

学 校 名	別府溝部学園高等学校		
学 校 法 人	学校法人溝部学園		
設 立 年 月 日	昭和21年 4月 8日		
理 事 長	溝部 仁		
校 長	佐藤 清信		
施 設	敷地面積	25,086.45㎡	設 備
	建築面積	6,566㎡	
	・屋内体育施設 [2F(弓道場)・ 3F(温泉プール)] ・足湯(源泉かけ流し)		
生 徒 数	723名 [男子 273名 女子 450名] ※看護専攻科含む		
学 科 ・ コース	普通科[進学コース・福祉コース・情報ビジネスコース・ライフデザインコース] 食物科 看護科[5年一貫]		

建学の精神等 (校訓)	【建学の精神】 『技術と資格を身につけ、自主自活できる人材の育成』 【校訓】 『恭敬・親和・自立』
特 色	新しい世界に即応する人間性の確立を目指し、各科・コースに於いてきめの細かい教育を実践し、多くの資格と確かな技術を身につけ即戦力として信頼される人材を育成。普通科では2年次より希望・適性に応じた4つのコースを展開し、食物科は卒業時に調理師免許を取得、5年一貫教育の看護科では高い国家試験合格率を実現。生徒は自然に恵まれた学習環境において明るく活気のあるスクールライフを送っている。
教 育 活 動	30年後に大木となる人材の育成を目指し、卒業証書プラスワンを合言葉に一人ひとりを大切に、生徒個々の状況に対応したきめの細かい教育を実践し、昨年度まで7年連続で進路達成率100%を実現。地域に開かれ信頼される学校づくりに向けて、食物科・看護科や音楽部による積極的な地域活動への参加や、地域の方々を対象とした地域交流会の実施、東部振興局と連携してジビエ料理の普及活動にも貢献。また、学園敷地内に11箇所ある泉源の1つを活用したひめやまの湯(足湯)は交流の場として生徒・地域に開放。『オール溝部』を合言葉に、学園全体として同学園短大・専門学校へと連結した5年間もしくは6年間継続した教育を推進し、より希望に即した就職を実現している。
ク ラ ブ 活 動	【運動部】卓球部・アーチェリー部・陸上競技部・水泳部・バレーボール部 バスケットボール部・テニス部・サッカー部・少林寺拳法部 【文化部】調理部・ボランティア部・音楽部・手芸部・コンピューター部・書道部
制 服	男女とも紺のブレザータイプの制服で、チェックのスカートと上着の白いパイピングはシンプルながらお洒落だと評判。女子の夏服は4パターンの着こなしから自由に選択が可能。平成31年度入学生より新制服へと移行。



東九州龍谷高等学校

【建学の精神】

「真実を求め、真実に生きん」

【ビジョン】

個性ある教員集団が自信に満ちて生き生きと活動し、
地域に密着し愛される学校

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 SDG s の理念のもとで地域とつながる

- 「仏教×SDG s」の取り組みとして、商店街の空き店舗などを利用して、地域の方々の悩み相談やボランティアの依頼に応える活動等を行う
- ホスピタリティの精神が浸透した教員が、学校開放行事などを通じて地域との交流を深める

2 しつけ・マナー指導の深化

- 宗教教育を基盤とした「心の教育」の観点から、しつけ・マナー指導を「監視」ではなく、「見守り」「寄り添い」の精神で行うように全教員で共通意識を持つ
- 部活動をさらに活発化させ、部活動生がマナー向上において率先して活動をする

3 スピード感ある職員対応

- ICTをベースにしたクラウドサービスを活用し、スピード感のある学校運営を目指すとともに、タブレット端末の導入、ペーパーレス、会議の短縮化で生徒にかかわる時間を増やす
- タブレット端末を全職員が授業に取り入れ、授業改善に取り組む

基本情報

学 校 名	東九州龍谷高等学校		
学 校 法 人	扇城学園		
設 立 年 月 日	明治32年 2月 6日		
理 事 長	梅高 賢正		
校 長	宇都宮 俊一		
施 設	敷地面積	18,816.41㎡	設 備 全教室冷暖房完備 (体育館含む)
	建築面積	10,273.98㎡	
生 徒 数	595名		
学 科 ・ コー ス	普 通 科 (特別進学コース、総合選択コース) 食 物 科 衛 生 看 護 科		

建学の精神等 (校訓)	「真実を求め、真実に生きん」 報恩感謝の念に富み、温和で知性と教養ある情操豊かな人格の育成に努める
特 色	(1)設置科…普通科(特別進学コース、総合選択コース)/食物科/衛生看護科 (2)宗教教育…建学の精神を、人間が真に人間として生きるための根本精神として宗教教育を実施 (3)人権教育…一人ひとりの生徒を大切にす教育、一人ひとりを見落とさない教育
教 育 活 動	(1)すべてのいのちを大切にす「平等」の精神、真実を求め真実に生きる「自立」の精神、常にわが身をかえりみる「内省」の精神、生かされていることへの「感謝」の精神、人類の対話と共存を願う「平和」の精神に基き、生命を大切にす受容、共生、個を尊重する教育活動 (2)国際化、情報化、少子高齢化、科学技術の発展や環境問題などの社会状況の変化に柔軟に対応できる個性的・創造的な人材の育成を図るとともに、思いやりや社会性、倫理観、正義感等の豊かな人間性の育成を重視した教育活動
ク ラ ブ 活 動	■運動部 バレーボール/ソフトテニス/卓球/柔道/空手道/剣道/相撲/軟式野球/ライフル射撃/陸上 ■文化部 宗教/聖歌隊/吹奏楽/将棋/チアリーディング/アニメ/図書/保育/科学/インターアクト/家庭クラブ/食物クラブ/ワープロ・パソコン/書道/弁論/看護・JRC/放送
制 服	夏服、合服、冬服ともにフォーマルウェア 制服には、学年章(左胸)や念珠(左手)を着用



昭和学園高等学校

【建学の精神】

努力精進・明朗融和・感謝奉仕

【ビジョン】

地域・生徒・教員それぞれに開かれた学校であり、生徒一人一人の個性を磨き育て、地域に必要な存在であり続ける。

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1. 地域と学校間の緊密な連携の構築と開かれた学校づくり

- ① 保護者や地域の方々に向けた「オープンスクール」を毎年実施し、それに対応しうる教職員の資質向上に努める。
- ② 公務分掌に設置してあるキャリアガイダンス部主導のもと、就業体験やマナー講座等を経験し、キャリアノートに記録・活用と同時に、職業観・就労観の育成を図る。
- ③ 地域の団体と校内に設置した「みりよく発信委員会」との連携において、科・コース・部活動の垣根を越えて生徒と地域の方々との交流・昭和ブランドの発信を通じ、生徒の社会性の涵養を図る。

2. 社会人基礎力を備え、地域社会に貢献できる人材の育成

～SPH指定校としての看護人材育成を学校全体の取組にも応用～

- ① 豊かな人間性の育成
建学の精神に通じる宗教的情操教育を通じて生徒の「心」の涵養を図り、豊かな人間性を育成する。
- ② 課題解決能力の育成
ICT教材の活用とともに地元の日田市の観光都市という側面を活かし、外国人の方との交流や観光案内、SPHでできたAPUの国際学生との交流を通じ、自ら考え、課題を探究し、解決能力を身に付けさせる。
- ③ 社会人としての基礎力の育成
昨今の気象状況を踏まえ、防災教育を導入し、学んだ生徒がその他の生徒へ還元していくという流れを作り、相互学習を通じて防災力を高め、同時に地域行事やボランティアへの参加、募金等の社会貢献事業に関わることを通じて社会の中で生きていく力、自己プロデュースとともにキャリアを自ら形成していく能力を養う。ボランティア活動・募金等の社会貢献事業に生徒が主体的に関わり、キャリアデザイン能力を磨き、社会人基礎力を身に付ける。

基本情報

学 校 名	昭和学園高等学校			
学 校 法 人	岩尾昭和学園			
設 立 年 月 日	昭和14年 4月 1日			
理 事 長	草野 義輔			
校 長	岡崎 浩晴			
施 設	敷地面積	校 地 14,756㎡ 運動場 8,471㎡	設 備	<ul style="list-style-type: none"> ・ SGホール (3階吹き抜け、図書館兼ねる) ・ 情報処理室 ・ 調理実習室 ・ 理科実験室 ・ 看護福祉実習室 ・ 製菓実習室 ・ 総合調理実習室 ・ 家庭科実習室 ・ 放送ブース 他
	建築面積	校 舎 8,063㎡ 体育館 2,074㎡ 寮 1,572㎡ その他 403㎡		
生 徒 数	高 校 528名 (男子167名、女子361名) 専攻科 125名 (男子 18名、女子107名)			
学 科 ・ コース	普通科 (特別進学コース、キャリアデザインコース (進学選択・キャリア選択)、 製菓衛生師コース) 調理科、福祉科、看護学科			

建学の精神等 (校訓)	綱領<努力精進 明朗融和 感謝奉仕>
特 色	仏教の教えに基づいた報恩感謝の心の教育を基本として、「努力精進」「明朗融和」「感謝奉仕」を三綱領(校訓)として掲げ、自ら学び自ら考え、生きる力を身に付けた、時代にふさわしい人材の育成を目指している。
教 育 活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教的情操教育を徹底し、三綱領の浸透を図る。 2. 専門的技術技能教育を徹底し、全員の資格取得、検定の合格を目指す。 3. 個人を生かす進路指導の徹底を図り、進路目標を達成させる。 以上3点を、本校の創立精神に立脚して、その徹底を図っている。
ク ラ ブ 活 動	インターハイ40回以上、全国大会100回以上出場のバドミントン部、平成27年度インターハイ出場(4年ぶり5回目)のソフトボール部、全国大会3年連続金賞のバトン部、20年連続全総文出場の詩吟部など、運動部10、文化部15の部活が日々活動している。
制 服	「変化の中で、変わらぬ想い。」をテーマに、新しい道を切り開くと同時に80年の伝統を重んじ芯の通ったイメージの制服に刷新します。スクールカラーの濃紺をベースにし、男女ブレザーで、男子はネクタイ、女子はチェックのスカートとリボンが特徴です。



藤蔭高等学校

【建学の精神】

『～鋭きも鈍きも共に捨て難し 錐と槌とに使い分けなば～』
(咸宜園の精神を継承)

【ビジョン】

安心安全でアットホームな環境の中、生徒の未来に希望が持てる
進路保障の確立、学業だけでなくスポーツやボランティアを通して
地域社会に貢献できる開かれた学校づくり

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 生徒の未来を長く見守るキャリア教育の推進

- ① 大学、短大、企業などとの強いパイプづくりを行う
- ② 受付実習、保育実習、インターンシップなどを通し、社会人として必要な力をつけさせる

2 生徒・保護者・地域から信頼され選ばれる学校づくり

- ① 国際貢献活動を中心とした社会奉仕体験活動の実施
 - ・ 20年以上継続している東南アジア支援物資輸送活動
- ② 地域の歴史文化遺産への理解を推進する
 - ・ ユネスコ活動（世界遺産等）についての学びから郷土愛、学校愛の醸成
 - ・ 地域の伝統行事（無形民俗文化財）などへの積極的参加

3 各種メディアを活用した学校情報の発信

- ① 学校ホームページに主な学校行事の写真、学校案内パンフ、動画等の掲載(情報デザインコースの活動の一環として学校行事の動画等を作成)
- ② SNSの活用（Facebookやツイッターなど）

基本情報

学 校 名	藤蔭高等学校		
学 校 法 人	日田佐藤学園		
設 立 年 月 日	昭和25年 5月 6日 日田高等経理学校設立 昭和29年 8月11日 高等学校設置認可		
理 事 長	佐藤 武朗		
校 長	石井 潔 ・ 佐々木 隆良 (令和2年4月から)		
施 設	敷地面積	21,454㎡	設 備 平成24年8月 校舎耐震化工事完了 男子寮、女子寮、 スクールバス
	建築面積	9,103㎡	
生 徒 数	全日制：317名 通信制：27名		
学 科 ・ コース	普 通 科 (特別進学コース、進学コース、保育コース) 通信制課程 情報経済科 (会計コース、情報・デザインコース) 普 通 科		

建学の精神等 (校訓)	<p>〈 建学の精神 〉 『鋭きも鈍きも共に捨て難し 錐と槌とに使い分けなば』</p> <p>〈 校 訓 〉 『規律・礼儀・品性』 (校訓三紀)</p>
特 色	<p>日田の誇る『咸宜園 (日本文化遺産)』の精神を教育方針とし、創立時から商業教育に尽力してきた創立70年の私立高校。当初は珠算が盛んで金融界に優秀な人材を輩出し、簿記教育では日商簿記検定1級取得などに成果を上げた。昭和60年には普通科特進コースを設置し大学進学に力を入れ難関大学に合格している。平成19年に通信制課程を設置し、「学びたい時に、学ぶ意欲のある人に、学習機会を与える開かれた学校」として、大学合格などに実績を上げている。</p>
教 育 活 動	<p>『鋭きも鈍きも共に捨て難し』の教育方針で個別指導を徹底している。教職員が常に生徒の可能性を最大限伸ばし、一人ひとりの個性を尊重しながら進路保障の実現に努めている。大学進学を目指す普通科は、国公立大学を目指す特別進学コースと、得意教科をいかし部活動との両立ができる進学コース、保育士を目指す保育コースがある。商業系の情報経済科は、会計コース・情報デザインコースに分かれ、大学や専門学校への進学と簿記・計算事務を主に事務職など社会の即戦力となる人材育成をしている。</p>
ク ラ ブ 活 動	<p>体育系では、硬式野球部が平成30年、令和元年に県内16年ぶりとなる連覇を果たすなど、夏3回、春1回甲子園に出場した。女子バスケットボール部は、アトランタ五輪で主将を務めた原田裕花を輩出し鳥取国体では3位となった。陸上部は女子走り幅跳びで京都国体優勝。フェンシング部は、少年男子が山口国体で団体優勝、東京国体で準優勝を果たした。文化系では、吹奏楽部が毎年県吹奏楽コンクールで金賞受賞やマーチングでも九州大会・全国大会出場の実績がある。</p>
制 服	<p>女子生徒は森英恵デザインで、冬服はキャメル色、夏服は白色を基調としたセーラータイプ。元AKB48に所属した渡辺麻友さんが可愛い制服の一つに選び「渡辺麻友制服図鑑」にも掲載された。男子生徒の冬服は、黒色の詰襟の学生服、夏服は白色シャツ。</p>



日本文理大学附属高等学校

【建学の精神】

産学一致

【ビジョン】

繋がるRelation

未来に繋がる教育、地域と繋がる教育

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 ICT教育推進

- ① ICT機器を活用したアクティブラーニングによる社会人として必要な能力の育成
- ② 校内に無線LANの学習環境を整備し、大型モニターやタブレットを活用した授業の推進
- ③ ネットモラル教育の実践

2 高大連携

- ① 7年一貫教育によるプロフェッショナルな人材の育成
- ② 高大の人材派遣（講師等）や、施設を活用した連携教育活動の緊密化。
- ③ 大学生との交流による連携活動の充実。
- ④ 産学官金等の地元パートナーの確立と高大プロジェクトチームによる新教育改革に対応できる教育システムの開発。

3 地域との連携

- ① 県南の企業・事業所との連携によるキャリア教育の実践
- ② 地場産業である造船業に従事する優秀な人材の育成。
- ③ 地域や人との関わりの中から生まれる社会的帰属意識と自律的学びへの探究心の醸成。
・地域ボランティア活動の推進。 ・地域行事の企画や行事参画等。
- ④ 地域と連携した防災教育の実施

基本情報

学 校 名	日本文理大学附属高等学校		
学 校 法 人	文理学園		
設 立 年 月 日	昭和30年 3月 佐伯産業高等学校設立 昭和30年 3月16日 高等学校設置認可		
理 事 長	菅 貞淑		
校 長	田中 英明		
施 設	敷地面積	45,781.39㎡	設 備 本館、菅記念体育館 四教館、学生寮
	建築面積	3,437.82㎡	
生 徒 数	518名		
学 科 ・ コース	普 通 科（特別進学コース、進学コース） 商 業 科（マルチメディアコース、こども福祉コース） 情 報 技 術 科（情報コース） 機 械 科（機械コース、造船コース）		

建学の精神等 （ 校 訓 ）	建学の精神：産学一致 校 訓 ：自立・勤勉・敬愛
特 色	県南唯一の私立高校。文武両道の実践校。系列校との高大連携事業推進校。
教 育 活 動	普通科特別進学コース (35単位) 少人数制による個々の習熟度に応じた指導 普通科進学コース (34単位) 生徒個々の能力に応じた学習指導 商業科マルチメディアコース (30単位) 商業の意義や役割理解の指導 商業科こども福祉コース (30単位) 様々な福祉の場での活躍を目指しての指導 情報技術科情報コース (30単位) ITの知識と技術の指導 機械科機械コース (30単位) ものづくりの基本的な専門知識・技術の指導 機械科造船コース (30単位) 地域の基幹産業である造船業界と連携し指導
ク ラ ブ 活 動	体育部：野球、レスリング、サッカー、駅伝競走、ラグビー、バレー、卓球、バスケットボール、硬式テニス、ソフトテニス、ゴルフ、ダンス、水泳 文化部：茶道、華道、コンピューター、美術・イラスト、書道、吹奏楽 同好会：詩吟、文芸、ライセンス、新聞クラブ、ハイスクール消防クラブ、放送、簿記公務員クラブ
制 服	スーツタイプ（シャツ、ネクタイ、リボン生徒の選択で着用できる）



柳ヶ浦高等学校

【建学の精神】

(1)人として豊かな心 (2)人生を生きぬく力 (3)社会に貢献する力

【ビジョン】

地域に愛され、信頼され、生徒が誇りを持てる学校へ

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 地域に根差した教育活動の推進

- ① 地域貢献やボランティア活動への積極的な参加
 - ・地域行事（神輿担ぎ、餅つき等）への協力や出前授業の継続
 - ・看護学科による地域住民に対しての健康増進活動の実施
 - ・地域医療を支えるための人材育成（看護師育成）
 - ・生徒によるSNS等を活用した地域への情報発信
- ② 生徒一人ひとりを大切にした生徒指導と個性に沿った進路指導
 - ・あいさつ運動と登下校、駅指導
 - ・寮生活への支援と指導
 - ・生徒理解のための面談週間の継続

2 教育環境、生活環境の充実

- ① 吉用学園内（専門学校、幼稚園）の相互交流
 - ・異年齢交流（プランター作り、ふれあい運動会等）の継続（幼稚園）
 - ・専門的施設設備の相互利用（専門学校）
 - ・ICT機器および教材の有効活用
- ② 寮の生活環境の充実
 - ・寮内学習室の設置と有効利用
 - ・寮生へのきめ細やかな個別指導
 - ・アトレータアプリを活用した食生活の管理

3 教職員全体の資質向上とスキルアップ

- ① 校内研修の充実と校外研修への積極的な参加
 - ・毎月の職員研修の継続実施
 - ・校内外での互見授業の実施
 - ・外部研修への積極的な参加
- ② 外国籍、帰国生徒に対応した教育体制の確立
 - ・日本語教育システムの構築と進路指導
 - ・異文化、多言語に対応した生徒理解

基本情報

学 校 名	柳ヶ浦高等学校		
学 校 法 人	吉用学園		
設 立 年 月 日	明治43年 1月 6日 柳ヶ浦裁縫女学校設立 昭和23年 5月26日 高等学校設置認可		
理 事 長	今永 妙子		
校 長	佐藤 扇太郎		
施 設	敷地面積	60,797㎡	設 備 本館、北校舎、看護棟 体育館、グラウンド、 野球場、サッカー場、 柔道場 剣道場、 室内練習場、寮（男女）
	建築面積	6,889.75㎡	
生 徒 数	高等学校：467名 看護専門課程：104名		
学 科 ・ コース	普 通 科（体育進学コース、普通コース、インターナショナルコース） 看護学科（5年一貫）		

建学の精神等 （ 校 訓 ）	1、人として豊かな心 2、人生を生き抜く力 3、社会に貢献する力
特 色	本校は創立110年を超え、また部活動では創部50年以上の長い歴史を誇る硬式野球部を代表として多くの卒業生たちが全国様々な場所で活躍している。普通科は文武両道を実践し、日々勉強にスポーツに取り組みながら全国大会出場を目指している。看護学科は5年一貫教育の下で看護師を養成しており、現在400名を超える卒業生が地元の地域医療を支える貴重な人材として活躍している。また、遠方から入学する生徒のため男女の寮を完備し、食事は土日祝日を含め毎日3食が提供されている。
教 育 活 動	教師と生徒との人間的な温かい触れ合いを大切に、豊かな人間性の伸長を図り、学業においても基礎基本を充実させ、知的探究心の喚起を図っている。また、学校行事や部活動・体験実習等を通して生き生きとした集団を組織しながら、幅広い社会性と自立性を身につけさせ、豊かな心とたくましい体を育成している。そして、人権・同和教育を推進し、互いを尊重しあう心の育成に努めている。さらに本校には、親元を離れ寮生活をしながら学校生活を送っている生徒も多く在籍しているため、寮生活を通じて自立・共同・友愛の精神を育成している。
ク ラ ブ 活 動	【運動部】硬式野球、男子サッカー、女子サッカー、男子バスケットボール、柔道、空手道、剣道、陸上競技（以上強化クラブ）、女子バレーボール、チアガール 【文化部】プラスバンド、インターアクト、英会話、家庭、弁論、書道、華道、写真、イラスト
制 服	冬服・夏服・合服がある。 冬服：男女ともダークブラウンのブレザーで、襟には「Y」マークのピンバッジ、水色のシャツにグレーのベストを着用。男子はダークグレーのスラックス、女子のスカートは紺色を基調としたチェック柄。 夏服：男子は水色の半袖シャツに紺色のスラックス、女子は水色の半袖のブラウス・紺色のスカート。シャツの襟は男女ともボタンダウンとなっている。



竹田南高等学校

【建学の精神】

心身共に健康な人材育成（幸福な人間をつくる）

【ビジョン】

人間教育の竹田南（思い描く力・動き出す力・伝え伝わる力・やり抜く力・気づき深める力）生徒と職員が誇りを持って進んでいく高校

【ビジョン達成に向けた具体的な取組】

1 人間力をつける生徒指導

- ① 礼儀、挨拶、マナー指導
- ② 目標に向かってやり抜く力をつける
実習と部活動（女子サッカー部）
- ③ 地域と連携したボランティア活動
（水生生物調査・交通安全啓発運動）

2 寮生活を通して自分の改革

- ① 実社会を生きるための基礎力をつける
基本的な生活習慣・社会スキルを身につける
- ② 食育による健康作り（地元食材を使った手づくりの食事の提供）

3 「7つの習慣」®で成功の秘訣を学ぶ

- ① ファシリテーターによる授業の特設（週1時間）
（キャリア教育につなげる）
「7つの習慣」®を教育プログラムに導入し、「なりたい自分」を目指して主体的に学ぶ習慣をつける
- ② チャレンジカップへの挑戦

4 アクティブラーニングとICT（情報通信技術）の導入

- ① 対話的で深い学びの実現（学習の習慣を身につける）
- ② 学習評価の見直し（学習者の特性を考えた評価）

基本情報

学 校 名	竹田南高等学校			
学 校 法 人	稲葉学園			
設 立 年 月 日	大正 5年 4月 7日 竹田女学校設立 昭和37年 8月25日 高等学校設置認可			
理 事 長	平野 孝光			
校 長	秦 靖恵 ・ 小野 二生 (令和2年4月から)			
施 設	敷地面積	10,128㎡	設 備	「男子寮」 「女子寮」完備
	建築面積	3,580㎡		エアコン完備
生 徒 数	111名			
学 科 ・ コー ス	全日制 普通科 (進学クラス・探究クラス・実践クラス)			

建学の精神等 (校訓)	心身共に健康な人材育成 (幸福な人間をつくる)			
特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校生徒や、発達に特性のある生徒などを地元及び、全国各地から受け入れて、社会でよりよく生きるための人間教育を行っている。 ・ 新入生は「7つの習慣」®の授業を通して、「自らが選択し、目標を立て、主体的に学ぶ」習慣をつける教育を実施する。 			
教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寮及び、下宿生活を通じて、生活習慣の立て直しと、自立を目指す。 ・ 実習や校外活動及び、地域貢献活動を通して、社会性を身に付けることを目指す。 ・ 免許・資格・検定取得のため、積極的に挑戦する。 ・ アクティブラーニングによる「自ら主体的に学ぶ姿勢を身につける。 ・ 生徒の特性に応じた個別指導の徹底と授業改善。 ・ 学力保障から進路保障のサポートまで、一貫した体制。 			
ク ラ ブ 活 動	女子サッカー部を中心にスポーツの振興 軟式野球部 陸上部 卓球部 バドミントン部 剣道部 弓道部 柔道部 バスケットボール同好会 図書研究部を中心に文化の振興 書道部 太鼓同好会 神楽同好会 2次元同好会 茶道同好会 手づくり同好会			
制 服	男子…学生服 女子…ブレザー			

○大分県私立中学校・高等学校の開校年等

年	学 校 名	設置者（学校法人）
明治32年	扇城女学校 （現東九州龍谷高等学校）	学校法人 扇城学園
明治33年	大分裁縫伝習所 （現岩田高等学校）	学校法人 岩田学園
明治41年	豊州女学校 （現明豊高等学校）	学校法人 別府大学
明治43年	柳ヶ浦裁縫女学校 （現柳ヶ浦高等学校）	学校法人 吉用学園
大正5年	竹田女学校 （現竹田南高等学校）	学校法人 稲葉学園
昭和2年	城南女学校 （現福德学院高等学校）	学校法人 城南学園
昭和14年	日田家政女学校 （現昭和学園高等学校）	学校法人 岩尾昭和学園
昭和21年	別府高等技芸学校 （現別府溝部学園高等学校）	学校法人 溝部学園
昭和22年	後藤簿記・珠算塾 （現楊志館高等学校）	学校法人 後藤学園
昭和23年	大分外国語専門学校 （現大分高等学校）	学校法人 大分高等学校
昭和25年	日田高等経理学校 （現藤蔭高等学校）	学校法人 日田佐藤学園
昭和29年	平松高等学校 （現大分東明高等学校）	学校法人 平松学園
昭和30年	佐伯産業高等学校 （現日本文理大学附属高等学校）	学校法人 文理学園
昭和31年	九州電波専門学校 （現大分国際情報高等学校）	学校法人 渡邊学園
中 高 一 貫 校		
昭和58年	岩田中学校・高等学校	学校法人 岩田学園
平成11年	明豊中学・高等学校	学校法人 別府大学
平成18年	大分中学校・高等学校	学校法人 大分高等学校
平成18年	向陽中学校・大分東明高等学校	学校法人 平松学園

○大分県私立中学校・高等学校 私学振興プラン改訂委員会名簿

	所属・学校名	職	氏名
1	岩田高校	総務主任	立川 英季
2	福德学院高校	教諭(企画主任)	徳永 沙織
3	大分高校	副校長	小山 統之
4	楊志館高校	教諭(広宣室長)	関 孝彦
5	大分東明高校	特進コース部長	阿部 雄行
6	大分国際情報高校	教諭	荒木 大介
7	明豊高校	教諭	高 陽一
8	別府溝部学園高校	教頭	松尾 司
9	東九州龍谷高校	教諭	紅椽 聖
10	昭和学園高校	理事長補佐	草野 浩輔
11	藤蔭高校	教諭	長澤 貴宜
12	日本文理大学附属高校	教諭	尾形亜津美
13	柳ヶ浦高校	教頭	小幡 克己
14	竹田南高校	教諭	佐藤 俊介
15	大分県私立中学高等学校協会	事務局長	渡邊 秀一
16		事務局員	木津 智美

※オブザーバー：大分県私学振興・青少年課

私学振興マガジン2020

令和2年2月発行

編集・発行 大分県私立中学高等学校協会

〒870-0022 大分市大手町1丁目1-13

TEL 097-536-3709 FAX 097-536-3719

<http://www.oitachuko.info/>

※表紙は大分高等学校書道部が揮毫

大分県内の私立高等学校(全日制)の分布と概要

①岩田高校 (岩田学園)

〒870-0936 大分市岩田町1-1-1
TEL 097-558-3007
理事長 成瀬輝一 校長 児玉洋司
定員 405名
普通科

中高一貫校 APU・立命館コースでは、高校在学中から大学の授業を受講 H30年度から1人1台タブレットによる授業実施 建築界のノーベル賞ブリツカー賞を受賞した世界的建築家磯崎新氏設計による校舎あり 6人に1人は帰国子女/約半数が留学を経験 (APU・立命館コース)

②福德学院高校 (城南学園)

〒870-0883 大分市永興1丁目16番20号
TEL 097-544-3551
理事長 幸和枝 校長 坂田一郎
定員 540名
普通科、健康調理科、こども教育科、トータルビューティ科

県内唯一のトータルビューティ科を設置 専門学校とのダブルスクールで在校中に美容師国家資格取得可能 こども教育科は別府大学、清部学園短期大学と高大連携 健康調理科は、別府大学と高大連携 つま塩メニュー開発 普通科I Tライセンコースは別府大学、IVYと連携 H29 なぎなた部がインターハイ個人種目準優勝 変形労働時間制導入、理事長自ら産休・育休取得等働き方改革実施

③大分高校 (大分高等学校)

〒870-0162 大分市明野高尾1-6-1
TEL 097-551-1101
理事長 小山康直 校長 小山統之
定員 1,440名
普通科、商業科、自動車工業科

中高一貫校 3年間を通じたキャリア教育 県内唯一の自動車工業科では、高校で3級、専攻科で2級の自動車整備士資格の取得を目指す (H30年度合格率100%) 書道の強豪校。第28回書の甲子園文部科学大臣賞など受賞多数 H31野球部が春の選抜1回戦突破 H30女子ハンドボール部が全国高等学校選抜大会初優勝 オリックス・バファローズ佐野皓大選手等を輩出 R1 アメリカオースチン市から書道部が招聘される

④楊志館高校 (後藤学園)

〒870-0838 大分市桜ヶ丘7番8号
TEL 097-543-6711
理事長 濱小路悦生 校長 高橋正直
定員 1,095名
普通科、商業科、調理科、福祉科、工業科

調理科調理師コースなど多様なコースを設置 学科・コースを超えた、多種多様な資格の取得を実践 県内唯一の手話資格者養成校 ボランティアで文部科学大臣表彰受賞 県や市町村とコラボし「地産地消授業」の実施・推進 福岡ソフトバンクホークス甲斐拓也選手を輩出

⑤大分東明高校 (平松学園) ※短大あり

〒870-8658 大分市千代町2-4-4
TEL 097-535-0201
理事長 平松大典 校長 平塚正明
定員 1,320名
普通科、商業科、衛生看護科 (5年一貫)、看護教養科

中高一貫校 普通科ではコースを分け、「分かる授業」に努力、特進コースでは高い大学合格率 (H31 東大5名 (うち1名理Ⅲ) 合格) 生徒による授業評価、公開授業週間を設ける H30駅伝部男子がインターハイ優勝。個人でも男女2選手が3種目で優勝 R1 RWC期間中にオールブラックスと練習試合 R2 ラグビー花園初出場

⑥大分国際情報高校 (渡邊学園)

〒870-0911 大分市新貝11番40号
TEL 097-558-3734
理事長 渡邊幸子 校長 渡邊幸子
定員 480名
普通科、情報通信科、情報電子科

情報系国家資格、各種検定資格の取得を奨励 H23～基本情報技術者資格に毎年合格者を輩出 (H30除く) H28応用情報技術者資格に1名合格 (税理士一級建築士相当) 全国4校九州唯一のマイクロソフトI Tアカデミープログラム認定校 R1 ICTカンファレンス優秀賞受賞者輩出 小学生向けのプログラミング教室実施 県内就職率96%

⑦明豊高校 (別府大学) ※大学あり

〒874-0903 別府市野口原3088
TEL 0977-27-3311
理事長 二宮滋夫 校長 岩武茂代
定員 600名
普通科、看護科 (5年一貫)

中高一貫校 英語ディベート大会参加等グローバル人材育成に熱心 県内公立学校で唯一普通科全生徒にインターンシップ実施 H29夏の甲子園大会でベスト8、H31春の選抜で大分県勢では43年ぶりとなるベスト4 福岡ソフトバンクホークス今宮健太選手を輩出 ヤクルトスワローズ濱田大真選手を輩出

⑧別府満部学園高校 (満部学園) ※短大あり

〒874-8567 別府市大字野田78番地
TEL 0977-67-6908
理事長 満部 仁 校長 佐藤清信
定員 480名
普通科、看護科 (5年一貫)

「卒業証書プラスONE」をモットーの一つでも多くの資格取得を奨励 進路達成率7年連続100% 全国唯一!? 足湯のある高校 高校版「勝ち飯」生徒による高校生食堂で部活生等の食事改善

⑨東九州龍谷高校 (扇城学園) ※短大あり

〒871-0031 中津市大字中殿527
TEL 0979-22-0416
理事長 梅高賢正 校長 宇都宮俊一
定員 855名
普通科、食物科、衛生看護科

女子バレーボールの強豪校。全国制覇19回。R2 春高バレー優勝。H29年度インターハイ優勝 バレーボール日本代表河合由貴選手などを輩出 H30、R1の2年連続ICTカンファレンス県代表輩出 H30高校生I C Tサミット全国代表輩出し中央省庁に提言 仏教×SDGs 出張系カフェで地域と商店街の活性化 R1 NUMNUMガールズ初の海外公演 (韓国)

⑩昭和学園高校 (岩尾昭和学園)

〒877-0082 日田市日ノ出町14番地
TEL 0973-22-7420
理事長 草野義輔 校長 岡崎浩晴
定員 765名
普通科、調理科、福祉科、看護科 (5年一貫)

普通科に製菓衛生師コースを設置、パティシエを養成 H27年度～R元年度まで文部科学省SPH指定を受ける (全国の私学初、大分県初) 看護師養成により、日田・朝倉・浮羽地域等の地域医療を支える スロージョギングコース、日田弁版・朝倉弁版・うきは弁版ラジオ体操作成等により、大分・福岡地域の健康長寿に貢献 バドミントン日本代表末綱聡子選手を輩出 日田天領祭りに参加し地域貢献

⑪藤蔭高校 (日田佐藤学園)

〒877-0026 日田市田島本町5-4-1
TEL 0973-24-2737
理事長 藤蔭武朗 校長 佐々木隆良
定員 600名
普通科、情報経済科

近代教育の元となった咸宜園の教育を継承 普通科に保育コースを設置。九州龍谷短期大学、純真短期大学と高大連携 H30 女子バスケット部インターハイ出場 R1夏の甲子園2年連続3回目の出場 東南アジア支援助物資輸送活動を24年継続 大原八幡宮仲秋祭放生会等参加で地域貢献

⑫日本文理大学附属高校 (文理学園)

※大学あり
〒876-0811 佐伯市鶴谷町2-1-10
TEL 0972-22-3501
理事長 菅 貞淑 校長 田中英明
定員 495名
普通科、商業科、機械科、情報技術科

R2から機械科に造船コース設置 1年生でキャリア設計を考え2～3年生で体験するライン制度 ハイスクール消防クラブで地域の消防人材育成 レスリングの強豪校 造船所進水式に吹奏楽部等が協力し観光に貢献 H30外務省「カケハシ・プロジェクト」で米国に派遣される

⑬柳ヶ浦高校 (吉用学園)

〒872-0032 宇佐市大字江須賀939
TEL 0978-38-0033
理事長 今永妙子 校長 佐藤扇太郎
定員 840名
普通科、看護学科 (5年一貫)

R2から留学生等を受け入れる国際コース設置 JA全農おおいと連携し、地元農家の農業作業を支援 柔道の強豪校 米大リーグ トロント・ブルーージェイズ山口俊選手、北海道日本ハムファイターズ 田中瑛斗選手等を輩出 宇佐神宮の夏越の祓え等地域の祭りに参加・継承

⑭竹田南高校 (稲葉学園)

〒878-0013 竹田市大字竹田2509
TEL 0974-63-3223
理事長 平野孝光 校長 小野二生
定員 300名
普通科

「7つの習慣」教育プログラムによる教育 ハンディのある生徒、他校からの不登校生の転編入を積極的に受入 H22年度不登校生徒を対象とする特別の教育課程を編成して教育を実施する学校の指定を文部科学大臣より受ける 20年間で全国700中学校から生徒受け入れ 卒業後も20歳頃まで連絡を取り合っており見守り 地産地消にこだわった手作りの給食

